

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【公開番号】特開2015-98531(P2015-98531A)

【公開日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-035

【出願番号】特願2013-238812(P2013-238812)

【国際特許分類】

C 09 D 183/04 (2006.01)

C 09 D 7/12 (2006.01)

B 05 D 7/02 (2006.01)

B 05 D 7/24 (2006.01)

【F I】

C 09 D 183/04

C 09 D 7/12

B 05 D 7/02

B 05 D 7/24 302Y

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月13日(2016.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

(I) 中塗り塗料組成物の調製

〔調製例1〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例1で合成した反応性シロキサン(A-1)100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ(MU-215)を15g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。ここで、粘度は、回転粘度計(BM型、6rpm、25)を用いて測定した値である。不揮発分は、アルミシャーレに試料を入れ、オープンで空気雰囲気下105、3時間加熱した前後の質量変化から求めた値である(以下、調製例2~6についても同様)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0101

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0101】

〔調製例2〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例2で合成した反応性シロキサン(A-2)100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ(MU-215)を15g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り用塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

〔調製例3〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例3で合成した反応性シロキサン(A-3)100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ(MU-215)を15g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り用塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0103

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0103】

〔調製例4〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例2で合成した反応性シロキサン(A-2)100gを仕込み、ヘラで攪拌下にシリカ(エロジル300)を4g添加し、十分均一なペースト状になるまで混合し、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0105

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0105】

〔調製例6〕

容量200mlのポリエチレン製カップ容器に合成例1で合成した反応性シロキサン(A-1)100gを仕込み、中塗り塗料組成物を調製した。物性を表2に示す。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0111

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0111】

【表2】

中塗り塗料組成物		調製例1	調製例2	調製例3	調製例4	調製例5	調製例6
組成	(A)反応性 シロキサン	合成例1 (A-1)	合成例2 (A-2)	合成例3 (A-3)	合成例 <u>2</u> (A- <u>2</u>)	- KF96-30cs	合成例1 (A-1)
	(B)シリカ	MU-215	MU-215	MU-215	アエロジル 300	MU-215	-
	(A)／(B) 混合比 (質量比)	100／15	100／15	100／15	100／4	100／15	100／0
中塗り 塗料 組成物 物性	粘度 (mPa・s)	3500	6000	100000	2000	98500	32
	不揮発分 (105℃,3h)	86%	92%	92%	92%	100%	77%